

令和4年度「学校評価」 結果公表シート

学校法人 白江学園
中浜幼稚園

当園ではこの度、令和4年度の幼稚園学校評価として、園長のリーダーシップのもと教職員自己評価、並びに関係者の皆様のお力添えをいただき、学校関係者評価を実施いたしました。本年度の学校法人全体での重点目標を「幼稚園生活における習慣や態度を身につける」と設定し、その目標を達成するために、学年ごとに具体的な目標を設定し、学校評価に取り組みました。

重点目標以外にも、何点かの目標を設定し、取り組みましたので、その取り組みを本シートに纏め、公表いたします。

I. 教育目標

教育のモットー

中浜幼稚園は、子どもたちの明るい未来を築きます。

教育目標と理想

- ・「すこやかな健康」
- ・「ゆたかな情操」
- ・「生き生きとした自主性」
- ・「すぐれた知性」

その人の一生を決定する、大きな要素となる「すこやかな健康」「ゆたかな情操」「生き生きとした自主性」そして「すぐれた知性」を自然に、しっかりと子ども一人ひとりの内に育むことを目的とし、将来どんなことがあっても自分で考え、正しく判断し、乗り越えていく、健やかなからだところを育てることを理想とする。

II. 今年度の重点目標

人の言葉や話などをよく聞き、自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。

III. 評価項目と取り組み状況

評価項目	取り組み内容	取り組み状況
1	【年長】 身だしなみを整え、安定感をもって行動する	B 朝の挨拶時、排せつ後、降園前など、身だしなみを整えられるよう、声掛けを徹底し続けた。少しずつ子ども達も意識するようになり、自ら身だしなみを整える姿が見られた。行事前に担任に余裕がない時、子どもたちが不安定なところがあったので、他者のフォローや計画的な保育が必要であると感じている。
2 【健康】 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身につける	【年中】 危険な場所や遊び方などがわかり、安全に気を付けて行動する	A 外遊びや体育館遊び等、遊ぶ範囲が広く先生の目が届きにくいところでは複数の先生が見て、危険のない環境づくりに努めた。コロナの状況次第で他学年との交流の機会をもうけ、下の学年の子どもたちへの配慮ができるように支援する。
3	【年少】 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む	A 少しずつ行事も戻り、遠足や発表などを学年ごとで実施することができた。コロナ対策でクラスごとの行動が多かったが、学年ごとや他の学年との外遊びの機会を徐々に増やしていけるように計画する。子どもひとりひとりと向き合い、個性を大切に活かせるようにしていく。

令和4年度「学校評価」 結果公表シート

学校法人 白江学園
中浜幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況
4	各項目の取組み内容 について	園として業務効率面における問題点は何であると認識しており、どのような取組や行動を実施したか	B 1人当たりの業務量が増加していることと、業務に偏りがあると感じるため、適切な分担が必要であると感じている。ペーパーレス化やアプリの導入をすることで手紙をセッティングする時間が削減された。また、出欠の確認もアプリで実施することでさらなる効率化が図れるのではないかと考えている。
5		園として安全・衛生面における問題点は何であると認識しており、どのような取組や行動を実施したか	B コロナ対策によるマスクの着用について、着用時とそうでない時の違いを伝えた。今後はマスクを外す機会が増えていくため、衛生面での配慮や手指消毒の取組み等を分かりやすく伝えていく必要があると考えている。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	業務分担	1人当たりの仕事量の把握と、適切な業務分担を検討する。
2	安全・衛生面の検討	外遊びにおける安全管理体制の整備を再検討する。

V. 学校関係者の評価

- ・アフターコロナによって安全・衛生管理をどのように変化していくのかは今年度の課題ではないかと思います。
- ・本年度の評価結果を見て分かる通り、アプリの導入やペーパーレス化を試み、業務効率化に進展があった1日だったと見受けられます。
- ・これからも保護者・地域から愛される中浜幼稚園を支援したいと考えております。

**令和4年度 中浜幼稚園
学校関係者評価委員名簿**

立場・役職等	氏名	人数
顧問コンサルタント	石田 竜佑	1
顧問税理士	井上 堯	1
熊野幼稚園(姉妹園) 教職員	傍島 恵美	1
評価委員合計	3 名	